

# ヒットブランド の源泉

## ダイキン工業株式会社



### ダイキン工業株式会社 概要

本社所在地：大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル

創業：大正 13 年 (1924 年) 10 月 25 日

代表取締役社長 兼 CEO：十河 政則

従業員数：単独 7,036 名 連結 70,263 名

(2018 年 3 月 31 日現在)

主な事業内容：空調・冷凍機、化学、油機、特機、電子システム

H P : <https://www.daikin.co.jp/>

#### 空調関連事業沿革：

- 1924年 合資会社大阪金属工業所を創立
- 1934年 大阪金属工業株式会社を設立
- 1935年 冷媒用フロンガスを開発
- 1949年 大阪証券取引所第一部に上場
- 1951年 日本初のパッケージエアコンを開発
- 1957年 東京証券取引所第一部に上場
- 1963年 堺製作所 金岡工場を大阪府堺市に新設、業務用エアコンの本格生産開始
- 1963年 ダイキン工業株式会社に社名変更
- 1970年 滋賀製作所を滋賀県草津市に新設、家庭用ルームエアコンの本格生産開始
- 1978年 店舗・オフィス用エアコン『スカイエア』を発売
- 1978年 堺製作所 臨海工場を大阪府堺市に新設、コンプレッサの製造工場として生産開始
- 1982年 日本初のビル用マルチエアコンを発売
- 1999年 世界初、無給水加湿機能を搭載したルームエアコン『うるるとさらら』を発売
- 2011年 ショールーム「フーハ東京」を新宿NSビルに開設
- 2012年 世界初、R-32冷媒を採用したルームエアコン『うるさら7』を発売
- 2013年 ルームエアコン『うるさら7』が、第5回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞
- 2013年 ショールーム「フーハ大阪」をグランフロント大阪に開設



**空** 気で答えを出す会社を標榜するのは、大阪梅田に本社を置くダイキン工業株式会社様。冷媒の開発から業務用・家庭用エアコン、空気清浄機などの開発まで、空調専門メーカーとして、1924年より歩んでこられました。

同社の体験型ショールーム「フーハ東京」で岸 生郎 空調営業本部営業開発部営業担当部長、多田裕之 空調営業本部事業戦略室企画担当課長の二人にお話しいただきました。

(文中での敬称は略させていただきます。)

右：岸 生郎 空調営業本部営業開発部営業担当部長  
左：多田裕之 空調営業本部事業戦略室企画担当課長



# 理想の空気を追い求める 空調のスペシャリスト

**編集部** まずは、お二人の簡単なプロフィールから教えてくださいませんか。

**岸** 平成4年に入社しまして、販売会社に15年程、その後は本社と、一貫して営業畑です。

**多田** 私も入社年は同じ平成4年ですが、当初は技術部門で空調の設計や施工に11年間携わり、その後は本社で商品企画に携わっています。

**編集部** 沿革を見ると、日本初・世界初とされる技術・製品のオンパレードですね。

**岸** 1924年の創業以来、空調専門メーカーとして、数多くの日本初・世界初の技術・製品を開発してきました。エアコンに使われている冷媒フロンガスの日本で初めての生産、日本初のパッケージ型エアコンやビル用マルチエアコ

ン、世界初の加湿機能搭載ルームエアコン「うるるとさらら」など、当社の歴史は世界の空調の歴史とも重なりま

**多田** 当社は、冷媒から機器の開発、製造・販売、アフターサービスまでを一貫して自社で行う空調のスペシャリストだと自負しています。総合空調メーカーという意味では、日本だけでなく、世界でも唯一ではないでしょうか。

**理想の空を実現する  
ルームエアコン「Erisora」**

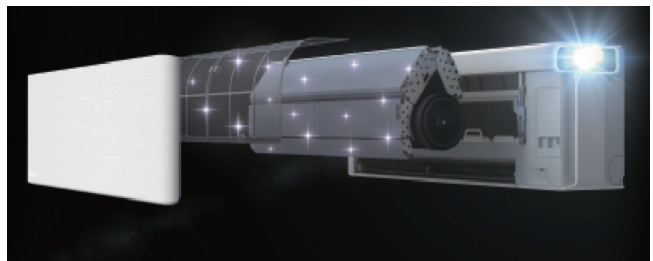
**編集部** ヒットブランドについて教えてくださいませんか。

**岸** 昨年3月30日より発売した、空気と空間両面での心地よさを実現したルームエアコン



- ・ 1 「業界最薄のコンパクト化、深みのある質感の追及でインテリアとの調和を実現」
- ・ 室内機の奥行きが業界で最も薄い185mmに抑えた圧迫感のない形状
- ・ 運転時の見た目にもこだわり、インテリアを損なわないパネル稼働
- ・ 5層の表面加飾を重ね合わせる加工で深みのある質感を表

「risora」が非常にご好評頂いています。  
**多田** 理想の空(空気空間)がネーミングの由来です。  
**編集部** 商品の特長を教えてくださいませんか。  
**多田** インテリアに馴染む形状や素材の質感等のデザイン性と、最上位機種と同等の機能性を追求して開発したもので、次の特長があります。



ストリーマで内部をキレイに

- ・ 現したパネルを採用
- ・ 多彩な質感を表現した7種類のパネルで様々なインテリアや嗜好に対応
- ・ 2 「独自の気流制御、冷房除湿制御等、最新技術で、空気の心地よさ」を実現」
- ・ 冷房時の「天井気流」と暖房時の「垂直気流」で風を感じにくく心地よさを実現
- ・ 人と床の表面温度を検知する「人・床センサー」を搭載し、

暖房時の室内温度ムラを解消  
 ・ 設定温度到達後も温度だけでなく湿度も制御し続ける「プ  
 レミアム冷房」で快適空間を  
 実現  
 ・ 室内機の小型化でも性能と静音を両立した新開発の送風ファンを搭載

### 機能志向の ルームエアコン業界に二石

**編集部** 開発の背景は。

**多田** 近年、日本では住宅のインテリアデザインに対する意識の高まりから、エアコンにも「機能性」だけでなく、インテリアに調和する「デザイン性」がより一層求められています。ただ、折角インテリアにこだわっても、エアコンは皆白色ですから、機能で選ぶしかありません。そういった機能志向のエアコン業界に一石を投じたいという想いから開発に至りました。

**編集部** カラーとスタイリッシュな見た目からして他の

ルームエアコンとは一線を画していますね。

**岸** お陰様で、世界的に権威のあるデザイン賞「レッド・ドット・デザイン賞」プロダクト・デザイン2018や「iFデザインアワード2018」、「2017年度グッドデザイン賞」を受賞させて頂きました。

**編集部** 開発する上で、苦労したことは。

**多田** 技術面で言いますと、業界最薄の185mmのボディにどれだけ過不足なく機能を搭





質感で溶け込む、  
ファブリックホワイト。

空間を引き締める、  
ブラックウッド。

自然な色味で空間を彩る、  
オリーブグリーン。

載できるかということにつき  
ますね。そのほかにもフラッ  
プが開くスピードなど、非常  
に細かな部分にまでこだわっ  
て開発しました。

### 32色のカラーパネル エアコンを選ぶ楽しさを提案

**編集部** 売れ筋のカラーは。

**多田** やはり、ベーシックなホ  
ワイトが人気で、「ラインホ  
ワイト」と「ファブリック  
ホワイト」合わせて6割程を  
占めています。次いで、「ブ  
ラックウッド」が1割強と  
いったところですよ。

**岸** エアコンは冷蔵庫と違い、  
ホワイトが当たり前ですので、  
4割ものお客様に別の色を選  
んでいただいたのは、正直驚  
きました。

さらに、今年4月より、好  
みの色にカスタマイズでき  
る有料オプションサービス  
『Risora custom style (リソ  
ラカスタムスタイル)』を  
はじめました。正面パネルを  
600色から好きな色に塗装  
できます。

**編集部** 600色とはすごいで  
すね。選ぶのが大変そうな気  
もします。

**多田** 標準7色と推薦色25色を



合わせた32色の室内機と、壁  
紙、天井材、カーテン、床、  
ソファを3D空間で組み合わせ  
て設置イメージをシミュレ  
ーション可能な『Risora 3Dシ  
ミュレーション (https://  
daikin.3cata.com)』を公開  
しています。専門的な知識を  
必要とせず、直感で操作でき  
ますので、楽しみながら選ん  
でいただけたらと思います。

### 空調専門メーカーだからこそ の柔軟なモノづくり

**編集部** ダイキンのものづくり  
の特長というと、どんなこと  
でしょう。

**岸** 空調専門メーカーだから  
こそできる、ユーザー目線  
のものづくりでしょうか。  
「Risora」やこの後紹  
介する廊下や洗面所など小空  
間用のカセットエアコンなど、  
ニッチなところではあります  
が、お客様のニーズがある以  
上は空調専門メーカーとして  
開発します。

また、弊社では、年2回、  
全社員を対象に新商品のアイ  
デアを出してもらい、商品開  
発に活かす取り組みをしてい  
ます。社員はユーザーでもあ  
りますから、社員の意見だけ  
でも、ものづくりの上で大き  
な強みになっています。

**編集部** 多田さんはどう思われ  
ますか。

**多田** 発想が家電メーカーでは  
なく、住宅・設備サイドの  
メーカーということでしょう  
か。生活に入り込んだ設備と  
いう発想がありますから、流

行りだけに走らず、ユーザー様に本当に長く使って頂けるモノづくりを目指しています。営業担当者からは、「他社に付いているこの機能も付けてよ」なんてよく言われるんですが、意外と設計陣が頑固でして（笑）、基本に根差した製品が多いことが特長です。ただ、逆にそのことが、空調に真剣に向き合っているという評価にもなっているのかなと思います。

◇

**編集部** 最後に、読者の電材卸店の方へメッセージを。

**岸 ユーザー様の困りごとを解決するようような商品をこれからも自信を持ってどんどん出して参ります。まだまだ至らないところは多くありますが、電材卸店様とその先いらつしやる電気工事店様、エンドユーザー様に我々の商品を使って頂けるよう、スピード感ある開発をし、ご提案をしていけたら、と思っ**

## “空気をはぐくむ森”プロジェクト

世界で排出される温室効果ガスの約1割は森林破壊によるものです。ダイキンでは、事業活動での取り組みに加えて、森林保全にも取り組むことで温室効果ガスの排出抑制に貢献しています。

### 森林保全を通じて社会課題の解決に貢献するプロジェクトです。

世界では農地の拡大や、木材の利用を目的とした人為的な森林伐採が増加しており、その背景にあるのは貧困などの社会課題です。そこでダイキンは、世界7カ所で、グローバルパートナーシップを活かした地域住民への支援を行っています。2014年からの10年間で、植樹に加え、伐採に頼らない生活手段を確立するための支援などを行うことで、1,100万haの森林を保全し、700万トン以上のCO<sub>2</sub>排出抑制に貢献します。

### 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)



グローバル社会が抱える貧困やエネルギーなどの課題を解決するため、ダイキンは2015年明に持続可能な開発目標(SDGs)を採択しました。17の課題解決に世界全体で取り組み、2030年の達成をめざします。

“空気をはぐくむ森”プロジェクト 概要  
http://www.daikin.co.jp/csr/forests/

**中国**  
Mountains of Southwest China  
過放牧や化学肥料を使用する農法からの脱却をめざし、科学的なデータにもとづいた農業支援や果樹の植樹などを行っています。  
これまでに22,000本の果樹を植え付けました。

**日本**  
Shiretoko, Hokkaido  
知床半島の豊かな生態系を守り、次世代に伝えていくため、従業員のボランティア活動を継続的に実施しています。  
これまでに約170人が「現地」に足を運び、森づくりに取り組みました。

**カンボジア**  
Central Cardamom Protected Forest  
美しい自然を活用して住民の収入を得られるように、エコツーリズムの計画や運営管理のためのトレーニングを行っています。  
これまでに170人がエコツーリズムの研修やイベントに参加しました。

**インド**  
North Western Ghats  
植樹の伐採を減らすため、燃焼効率の良いかまどを支援しています。煙が薄く、健康への影響も軽減しています。  
これまでに150個の改良かまどを導入し、約3,800本の木が薪炭に利用されるのを回避しています。

**インドネシア**  
Java Island  
森の恵みである水と、水力発電による電気を各家庭に届けます。労働賃や雇用量が向上することで、住民が持続可能な生活を送り、積極的な環境保全活動が促されています。  
これまでにきれいな水を500世帯に提供しました。

**ブラジル**  
Amapá Biodiversity Corridor  
経済の発展と調和しながら、地域住民が自然の恵みを活かし続けられるよう、森林資源を有効に活用するためのトレーニングを実施しています。  
これまでに森の恵みをいかした産物を商品化することで、43世帯の収入が20%向上しました。

**リベリア**  
East Nimba Nature Reserve  
野生動物との共存や衛生面に関する教育をしています。農業の指導など、密猟や焼畑を減らす取り組みも行っています。  
これまでに18村の30,000人に環境教育を実施しました。

社会 貢献 活動

色とりどり

ダイキン工業(株)は、エアコンメーカーとして、「地球のエアコン」を守り育てる「空気をはぐくむ森」プロジェクトを進めています。

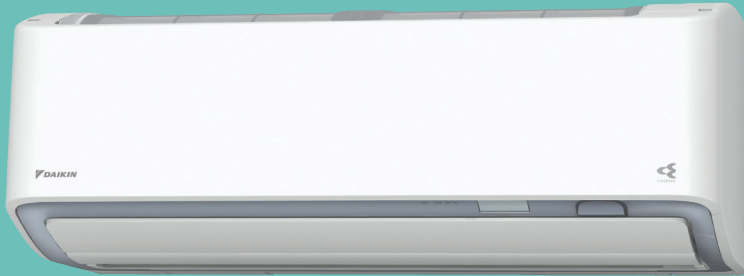
期間は2014年6月から2024年5月までの10年間。世界最大級の原生林をはじめとした7箇所※の地域で、地球の空気をはぐくむ森を育て、未来につなげていくことが目的。

世界7箇所約1,100万ヘクタールの森林を保全することによるCO<sub>2</sub>の排出削減見込量は、700万トン以上となる見込みです。

また、森林を持続的に保全するためには、森と共に生きる地元住民の環境知識の向上など、統合的な支援が不可欠として、植樹だけでなく、伐採に頼らない生活手段を確立するための支援などを行うことで、社会課題の解決に貢献することも目指しています。

※7地域：ブラジル(アマゾン・アマバ生物多様性コリドー)、リベリア(東ニムバ自然保護区)、中国(中国南西山岳地帯)、インド(北西ガーツ)、カンボジア(中央カルダムン森林保護区)、インドネシア(グナンゲア・パングランゴ国立公園)、日本(知床)

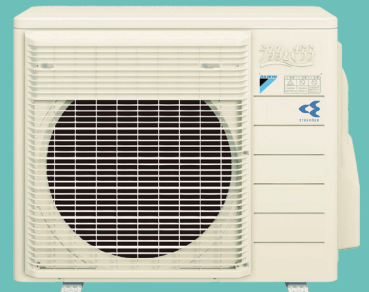
# ルームエアコン 『うるさら7 (Rシリーズ)』



『うるさら7 (Rシリーズ)』はA1と独自の制御技術の組み合わせで、天気や季節が変わっても好みの温熱環境を自動で実現します。

人が感じる暑さや寒さなどの体感温度は、「温度、湿度、気流、輻射熱、着衣量、活動量」による温熱環境によって変化します。ダイキンはこれまで、湿度が体感温度に及ぼす影響に注目し「無給水加湿」や「ハイブリッド除湿」など、快適な室内環境を実現する湿度コントロール技術を開発してきました。

本商品は、同社が培ってきた湿度コントロール技術をさらに向上させた「新ハイブリッド除湿」を搭載し、除湿運転が効きづらかった肌寒い時期でも従来の約2倍の除湿量を実現します。また、加湿、除湿をはじめとした当社独自の制御技術に、好みの温熱環境を学習するA1を組み合わせた業界初の「A1快適自動」運転により、年間を通じて快適な室内環境を実現します。



# 屋外用エアコン 『アウトータワー』



『アウトータワー』は、真夏のカフェのテラス席や公共空間など、暑さが課題となる屋外空間を快適にする屋外用エアコンです。

近年、猛暑を背景に、真夏の暑い屋外をいかに快適・安全に過ごすかが課題になっており、自治体や事業者が熱中症を防ぐための暑さ対策に取り組んでいます。一方で、商品やサービスから得られる体験に価値を見出す「コスト消費」が重視される傾向があり、スポーツや音楽などの屋外イベントやグランピングやキャンプなどのアウトドアを楽しむ人が増えていきます。また、インバウンド需要の拡大により、飲食店が外国人観光客をターゲットにテラス席を設置するなど、屋外の快適性向上に対するニーズが高まっています。

本商品は、タワー形の本体の側面中央から冷風を前後左右の4方向に向けて約3m先まで届けることで、屋外に涼しい空間(クールスポット)を創造します。一般的なエアコンにおける室内機と室外機が一体となった構造になっており、室内機と室外機をつなぐ冷媒配管工事が不要のため、設置が簡単で、場所も選びません。

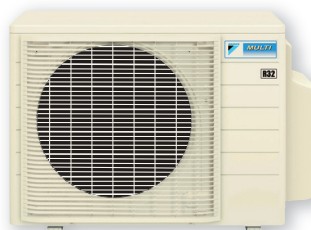
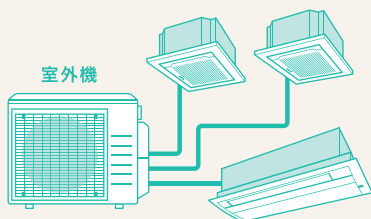


# 小空間 マルチカセット形 エアコン 『ココタス』



## システムマルチ

室外機1台で室内機3台まで  
接続できます。



《マルチ室外機》



キッチンに『ココタス』



リビングに『天井埋込カセット形』



洗面所に『ココタス』



『ココタス』は、洗面所やキッチン、廊下などの非居室の小空間にも設置できる、業界最小サイズの小空間マルチカセット形エアコンです。

現在、多くの日本の住宅では、リビングや寝室などにはエアコンが設置されており、洗面所やキッチン、廊下などの非居室には設置されていないのが一般的です。そのため、夏場の調理中のキッチンや、化粧する際の洗面所、冬場の廊下などは、暑さや寒さを感じやすい空間になっていました。また、近年、高齢者が冬場の入浴後に寒い洗面所に出て急激に体温が下がり、ヒートショックで倒れてしまうというケースが増えており、住宅内を移動する際の温度差も課題となっています。

本製品は、狭い場所に設置することを想定し、室内機を従来の住宅用の天井埋込カセット形に比べて化粧パネルを約68%小型化した業界最小サイズを実現しました。また、非居室の利用実態に応じた使い勝手の良さを充実させました。さらに、1台の室外機に『ココタス』だけでなく、壁掛形・天井埋込カセット形の室内機や床暖房ユニットなど最大で合計3台まで接続でき、室外機の数をも最小限に抑えられるため住宅の外観もそこないません。